

名前：

私は、結論として、これから新聞や雑誌は必要であると考えます。

確かに、インターネットが普及した今日、新聞や雑誌は情報の伝達が遅く、生産コストもかかることから、もはや不要なものであるとも考えられる。

しかし、私は以下の4つの理由から、新聞や雑誌は今日においてもなお必要であると考えます。

第1の理由は携帯できる利便性にある。インターネットの場合、パソコンを媒体とする必要があるが、そのような重いものを気軽に携帯している人はいないだろう。この点、新聞や雑誌は気軽に携帯できて、電車内などでも立ち、たまたま読むことができる。

第2の理由は情報の信用性にある。インターネットの場合、一定の技術と有するものならば、電腦空間に介入することによってオリジナルの情報を改ざんしたり、自らが虚偽の情報を流したりすることが可能であらう。そ

うすると、情報の受け手としては誤った情報も真実として受け止めかねない。これに対して、新聞や雑誌は第三者の介入の余地はなく、前述したような弊害はないと考える。

第3の理由は一覽性が大きいことにある。インターネットの場合、人が一度に見ることのできるのはディスプレイに映し出された部分にすぎない。これに対して、新聞や雑誌の場合、一度に視界に入る範囲はインターネットに比して広いといえる。それゆえ、自分の知りたい情報のトピックをすぐ見つけ出すこともできるし、紙面全体を見ることで部分ごとの情報を有機的に関連させて理解することも可能となる。

第4の理由は新たな発見があることにある。インターネットの場合、自分の興味のある項目についてしか情報を入手しようとしにくい。これに対して、新聞や雑誌の場合、とりあえずパラパラとページをめくっていきながら、意外にも貴重な情報を入手できたり、それま

1800字

では何の興味もなか、た分野に興味を持つま
っかけになるま、かけが転が、ていたりする
のである。

以上の理由から、私は今日においても新聞
や雑誌はなお必要であると考える。

以上